



苫小牧市文化団体協議会

-令和6年1月10日-

No.135



會長 林廣志

年頭のご挨拶

あけましておめでとうございます

二〇二四年の年頭にあたり、新年のご挨拶を申し上げます。

ました。では我々は：、「諦めるのはやめましょう！」と思うのです。

り、文化・芸術活動が「コロナ以前」の状況になりました。ステージや展示会には多くの市民の笑顔が戻ってきました。祭りやイベント会場も多くの市民で盛り上つっていました。

昨年の年頭の挨拶で高齢者や持病がある方は決して油断できない状況にあることに変わりはないけれど、コロナを過剰に恐れては芸術・文化の灯は小さくなるばかりという矛盾に突き当たると述べました。

となり、足腰を動かすには「よいしょ！」の掛け声が必要になります。だからといって年齢を言い訳にしてほしくないのです。多くの高齢な会員が持病で思うような活動ができないことを知つていています。だからと言って諦めではほしくないのです。諦めてしまえば身体は楽になるかもしれません、気持ちは満足するでしょうか。自分の身体をしつかり認め、受け入れた上で、諦めず前進してほしいのです。

そういう中で迎えた昨年の市民文化祭は、文化の輪をさらに大きく広げようと、工夫を凝らして新しい事業を模索し、実践してきました。これらは実行委員をはじめ多くの人たちの努力の賜物であり、改めて感謝申し上げます。

今、文化団体協議会の大きな課題としては、高齢化による会員の減少と次世代を担う人材の育成があります。団体の中核を担ってきた方々の高齢化は活動力を低下させるだけでなく、時として団体の存続そのものを危うくしています。ではどうすれば良いのでしょうか。人は一年に一歳確実に年齢を重ねていきます。昨年の文化祭の閉会の挨拶の中で呼びかけましたが、WBCの決勝戦の前、大谷翔平選手は「憧れるのはやめましょ！」と激を飛ばしチームを勝利に導き

高齢化は決してマイナスだけではありません。自分の活動力が低下したとき、支えてくれる仲間の存在がいかに重要であるかに気付かされます。仲間と一緒に歩むことを考えた時、組織というものがいかに必要であるかを思い知らされます。一人のリーダーに頼り過ぎる時代は終わったのです。

個性があふれる時代、互いにリスクとトしながら、支え合つて前に進みます。文化を大切にすることは人生を大切にすること、文化を楽しむことは人生を楽しむことにつながります。文化の大好きな華を咲かせるために一緒に歩きだしてください。皆様のご理解とご協力をお願ひ申し上げ、新年にあたつての決意を込め、ご挨拶といたします。

福稻中小齋内林遠沼宮葛鈴成曾佐本木田碓赤門若向坂坂工山石若杵青南佐伊延山北松山大白山小今林
田塚條形野田 藤田脇西木田根藤江村中井崎田柳井上東藤下岡山家山 野藤 崎川原上澤岩田林田

秀範誠伊克隆俊泥惇 臣富惠公松正悦節和しあ美真登美明 博七宗史幸逸由雅道敏孝尚美幸 和廣
知 貴 ほ 賀理喜 美 紀 知
工部文書二卷之三

文化部長	ステージ部長
芸能部長	小牧詩吟団体連合会
展示部長	小牧書道連盟
芸小牧陶芸協会	小牧江差分連合会
小牧牧童連盟	小牧創作舞踊連盟
小牧演劇協議会	小牧地区民謡連合会
舞踊むつみ連合会	小牧江差分連合会
小牧耕楽協会	小牧牧童連盟
小牧音楽連盟	小牧吹奏楽連盟
小牧吹奏楽協会	小牧牧童連盟
ダンスプロジェクト	小牧軽音楽連盟
バレエアーティスト連盟	小牧合唱連盟
日本舞踊 旭甫会	小牧日本舞踊協会
苦小牧書道連盟	苦小牧牧童連盟
苦小牧写真連盟	苦小牧華道連合
苦小牧華道連合	苦小牧陶芸協会
苦小牧手芸連盟	苦小牧美術協会
苦小牧美術協会	表千家苦小牧和敬会
表千家苦小牧和敬会	裏千家淡交会苦小牧支部
苦小牧絵手紙の会	苦小牧文芸くらぶ
苦小牧文芸くらぶ	苦小牧俳句協会
苦小牧川柳社	苦小牧歌rukub
苦小牧歌rukub	宮沢賢治と苦小牧の会
宮沢賢治と苦小牧の会	苦小牧郷土文化研究会
苦小牧郷土文化研究会	苦小牧園藝連盟
苦小牧園藝連盟	日本将棋連盟苦小牧支部
日本将棋連盟苦小牧支部	苦小牧映画サークル連盟
苦小牧映画サークル	文化交流センター



第75回 苫小牧市民文化祭

9月16日～11月25日





市民吹奏楽祭



市民吹奏楽祭



カルチャー&ミュージックフェスティバル



カルチャー&ミュージックフェスティバル



市民参加演劇祭



市民参加演劇祭



市民交流将棋大会



市民交流囲碁大会



市民文芸 65号トークサロン



和のステージ



和のステージ



総合展示 発表会



宗衆經之軌端也深極
括宏遠與旨遐深極
空有之精微體生威
之模要同爻道





表彰式 苫小牧市民文化祭 表彰式



苫小牧市民文化祭 表彰式



市民文芸賞・奨励賞

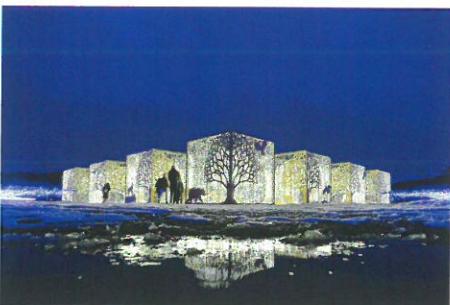


絵画



ちょいと一句

写真



ちょいと一句 入選作品

機遊び児には 児なりの 宝もの
なつかしい 夏のおもいで 父うかぶ
機あそび 波の音消す 笑い声
遠き日の 子等の笑ひや 夏の空

櫻井 伸良
大内 妙子
伊藤久美子
高木美代子

紺碧の 水面に光り こぼれうつ 我にこのまま 時間(とき)を下さい
冬の夜 氷にうつった 自然たち
冬の夜 こっちにおいてと 声がする
皆同じ 一つの命 水澄めり
凍る夜の 星のこぼるる コタンかな

八田 芳子
高橋 心那
高橋 陸
岩筋由紀子
浅野 数方

絵
画

写
真

小中学生作品展 文団協会長賞作品



丸山 翔大 (小4)



鈴木 蓮音 (小2)



大串 昂心 (小4)



大場 淳平 (小2)



島田 韶 (中3)



高橋 奈々 (小6)



高橋 杏実 (小3)



斎藤 翔 (小4)



牧野 拓実 (小1)



河瀬 優育 (中3)

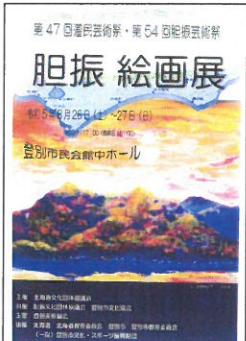


ちょいと一句賞



小中学生作品展入賞

苫小牧市民文化祭 表彰式



登別市民会館におきまして、胆振絵画展を開催しました。苦小牧からは10作品が出品しました。

令和5年度 苦小牧市文化賞・文化奨励賞表彰式



令和5年度 苦小牧市文化賞及び文化奨励賞に、文団協加盟団体の文芸部である苦小牧市民文芸編集委員会と苦小牧絵手紙の会が授与されました。おめでとうございます。

文化基金へのご協力に感謝！

文化基金へのご協力、ありがとうございました。
会報134号以降のご寄付は下記の通りです。

(令和5年6月1日～令和6年1月5日)

記

◎ J DANCE STUDIO Step's	5,000円
◎ 苦小牧演劇協議会	3,000円
◎ 舞踊むつみ連合会	5,000円
◎ 苦小牧マンドリン合奏団	10,000円
◎ 苦小牧工業高校吹奏楽部	10,000円
◎ 苦小牧三曲会	10,000円

編集後記

インフルエンザが流行しています。会員の皆様、大丈夫ですか？

手洗い、うがいをしっかりやっていきましょう。

さて、2024年の干支は、辰年です。

辰年のキーワードである「変革（転機）」や「激動」が示すように、時代が動く年となるかもしれません。これまでの努力が実って夢が叶いやすい年と言い換えられます。今年も、文化芸術に触れる機会を実現することにより、市民の文化維持の衰退を止めることを望んでいます。そして、会員の皆様の健康で充実した活動が出来ますことを願っています。



文団協「はばたき」No.135

発行日／令和6年1月10日

発行所／苦小牧市旭町2丁目8番19号 文化会館内

苦小牧市文化団体協議会

発行者／会長 林 廣志

編集者／事務局長 松原 敏行

TEL・FAX (0144) 36-3491

E-mail : bundankyou.matsu@aioros.ocn.ne.jp

ホームページ : <https://www.tomabundankyou.com/>